



## ■ スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を受け、日本国内での活動を推進しています。

## ■ スペシャルオリンピックスの特徴

**ディビジョニング：** スペシャルオリンピックスの競技会・大会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリート同士で競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け(ディビジョニング)を行います。このディビジョニングによって、能力を十分に発揮できると考えています。

**全員表彰：** スペシャルオリンピックスの競技会・大会に参加した全てのアスリート(失格等を除く)が表彰台上がり、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられます。順位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人にかわらぬ栄誉が贈られます。

## ■ スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲームについて

地域での日常のスポーツトレーニングの成果を発表する場として、4年に1度、夏季・冬季のナショナルゲーム(全国大会)を開催しています。

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995年	熊本	5競技		アスリート137名 / コーチ他64名
1996年	宮城 福岡	1競技		アスリート34名 / コーチ他17名
		2競技		アスリート45名 / コーチ他21名
1998年	神奈川	8競技		アスリート194名 / コーチ他134名
2000年	長野	3競技		アスリート121名 / コーチ他81名
2002年	東京	11競技	21地区、2設準 ※海外4カ国	アスリート816名 / コーチ他546名
2004年	長野	7競技		アスリート620名 / コーチ他393名
2006年	熊本	12競技	32地区、8設準	アスリート1016名 / コーチ他560名
2008年	山形	7競技	29地区、3設準	アスリート533名 / コーチ他330名
2010年	大阪	12競技	38地区、8設準	アスリート1042名 / コーチ他591名
2012年	福島	7競技	31地区、2設準	アスリート574名 / コーチ他320名
2014年	福岡	12競技	42地区、5設準	アスリート975名 / コーチ他593名
2016年	新潟	7競技	31地区	アスリート614名 / コーチ他329名
2018年	愛知	13競技	47地区	アスリート約1000名 / コーチ他約550名 予定

※ 設準…設立準備委員会のこと